

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
減価償却の方法は定率法で行う。
- (2) 資金の範囲について
資金の範囲については、現金、預金、未収金、未払金、預り金を含めている。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税の会計処理は、税込方式を採用している。

2. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
保証金	3,000,000		3,000,000

3. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期末残高
普通預金	12,175,774	10,057,020
未収金	8,111,312	12,575,000
合計	20,287,086	22,632,020
未払金	13,354,504	7,495,763
預り金	0	58,950
合計	13,354,504	7,554,713
次期繰越収支差額	6,932,582	15,077,307